

2012年3月期 第2四半期連結決算説明会

大陽日酸株式会社

決算説明会 内容

1. 2012年3月期 第2四半期連結業績
2. 東日本大震災による影響
3. 新中期経営計画の概要
(2012年3月期～2014年3月期)
4. トピックス
5. 2012年3月期 通期連結業績(予想)

2012年3月期 第2四半期連結業績

2012年3月期 第2四半期 連結業績

単位:億円

	10年4~9月 利益率	11年4~9月 (公表値)	11年4~9月 (実績)	前期比 増減率	11年4~9月 公表値比
売上高	2,373	2,390	2,347	-25 -1.1%	-42 -1.8%
営業利益	180 7.6%	150 6.3%	157 6.7%	-22 -12.5%	7 5.2%
経常利益	178 7.5%	140 5.9%	160 6.8%	-18 -10.3%	20 14.3%
当期純利益	102 4.3%	74 3.1%	84 3.6%	-18 -17.7%	10 13.7%

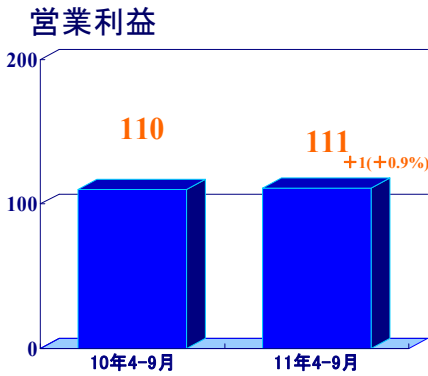
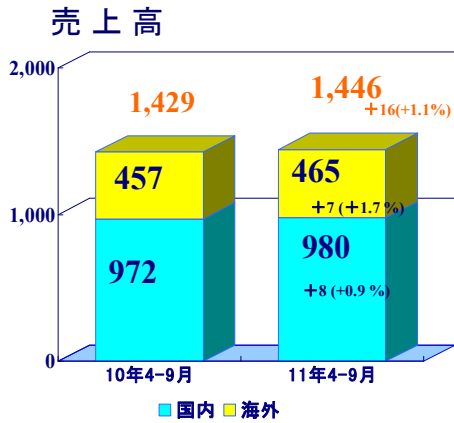
セグメント業績

2012年3月期 第2四半期 セグメント業績

単位: 億円

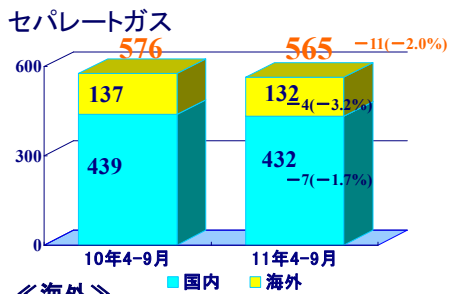
	2011年3月期 (4-9月)		利益率	2012年3月期 (4-9月)		利益率
	売上高	営業利益		売上高	営業利益	
産業ガス	1,429	110	7.7%	1,446	111	7.7%
エレクトロニクス	617	52	8.4%	561	31	5.6%
エネルギー	166	4	2.8%	177	6	3.7%
その他	158	20	13.1%	162	15	9.3%
調整額		▲7			▲6	
合計	2,373	180	7.6%	2,347	157	6.7%

産業ガス関連事業



※売上高のグラフは、海外売上高ベースで分類しております

主な産業ガス関連事業(売上高)

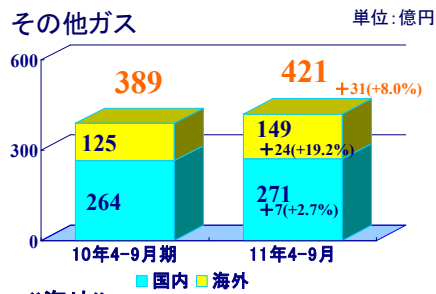


《海外》

◆数量は前期を上回ったが、円高により、売上高では若干減少

《国内》

◆上期前半を中心に震災影響により数量・金額ともに減少
◆上期後半から回復基調



《海外》

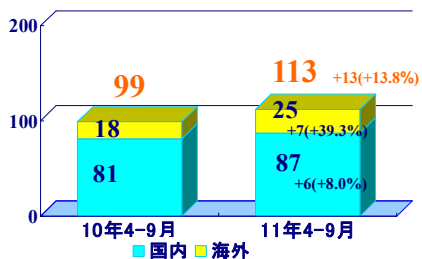
◆北米で新規連結効果もありアセチレンが好調

《国内》

◆炭酸ガス好調

主な産業ガス関連事業(売上高)

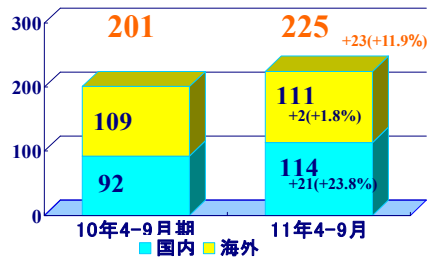
ガス関連機器等



《海外、国内》

◆供給機器などが好調

溶断機器・材料



《海外》

◆北米でハードグッズが堅調

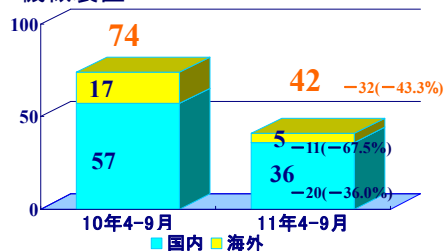
《国内》

◆レーザ切断機が好調維持

主な産業ガス関連事業(売上高)

機械装置

単位: 億円



《海外》

◆工事案件減少

《国内》

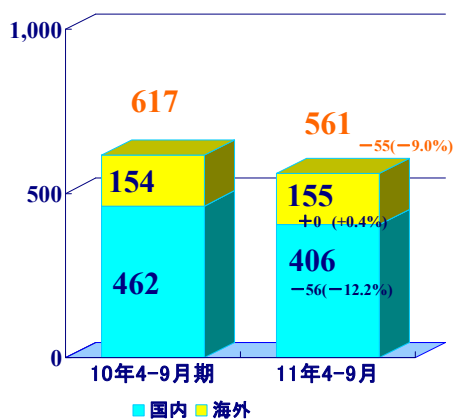
◆工事案件が大幅に減少

◆大型工事は順調に完工

●大手化学メーカー向けに空気分離装置受注

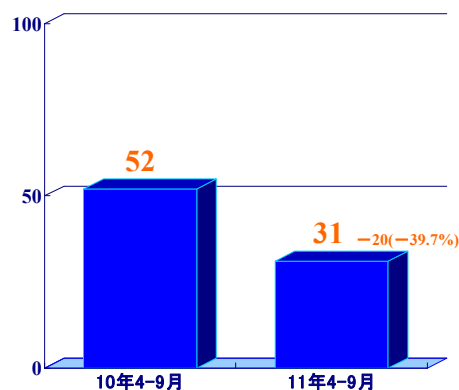
エレクトロニクス関連事業

売上高



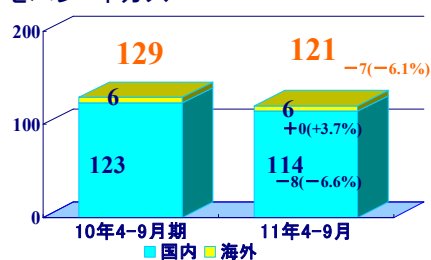
営業利益

単位: 億円



主なエレクトロニクス関連事業(売上高)

セパレートガス



《海外》

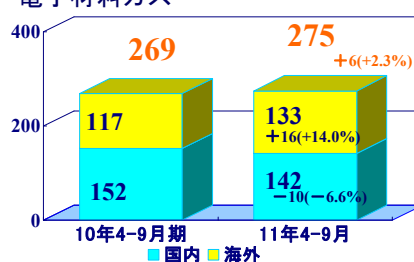
◆アジア、北米で窒素堅調

《国内》

◆上期前半を中心に震災影響あり

電子材料ガス

単位: 億円



《海外》

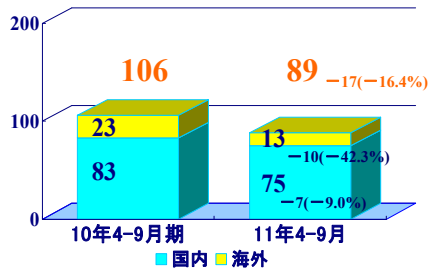
◆韓国、台湾、中国での販売堅調

《国内》

◆半導体、液晶パネル減産により、数量・金額ともに減少
◆セレン化水素、新規供給開始

主なエレクトロニクス関連事業(売上高)

電子関連機器・工事



《海外》

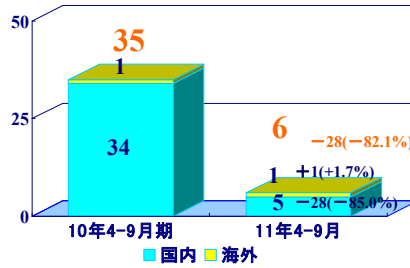
◆北米での機器案件減少

《国内》

- ◆機器・工事大型案件減少
- ◆震災影響により着工遅延案件あり

MOCVD装置

単位: 億円



《海外》

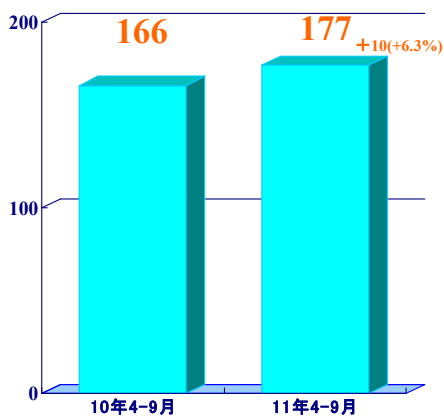
- 台湾、韓国市場は受注堅調
- 韓国(合併会社)での製造・販売に期待

《国内》

- ◆国内完成工事大幅減少
- 新型大口径量産機実証試験開始

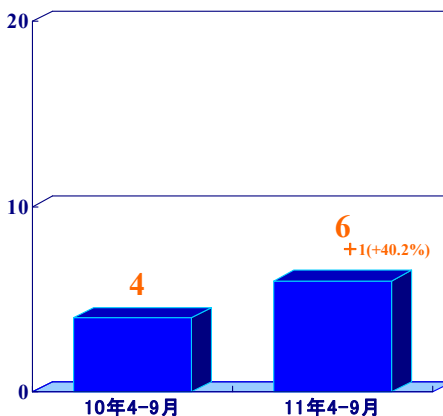
エネルギー関連事業

売上高



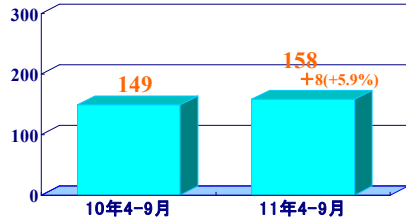
営業利益

単位: 億円



主なエネルギー関連事業(売上高)

LPガス

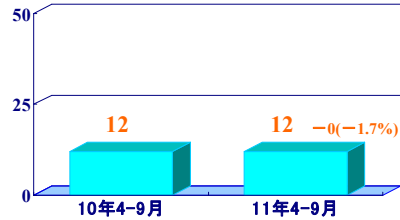


《国内》

- ◆震災影響があり、数量は微減
- ◆輸入価格上昇に伴う販売価格値上げ

機器・工事等

単位: 億円

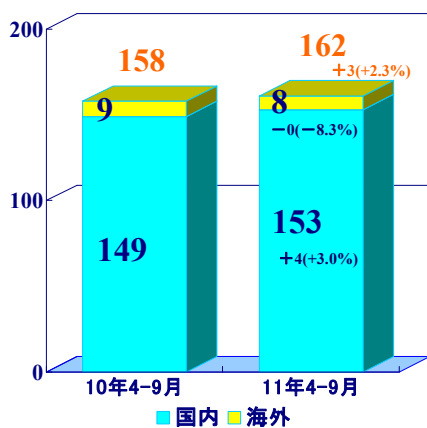


《国内》

- ◆工業用設備堅調で、ほぼ前期並
- ◆電力供給不安からLPガス小型発電機、GHPの引き合い増加

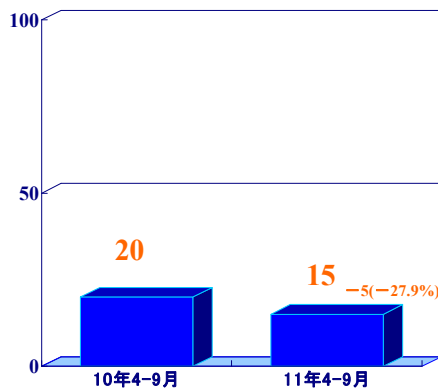
その他事業

売上高



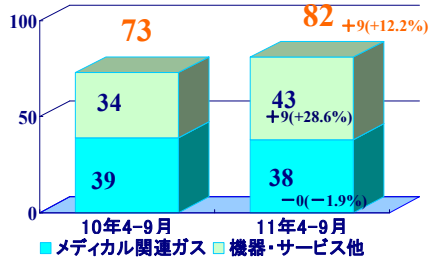
営業利益

単位: 億円



主なその他事業(売上高)

メディカル関連事業

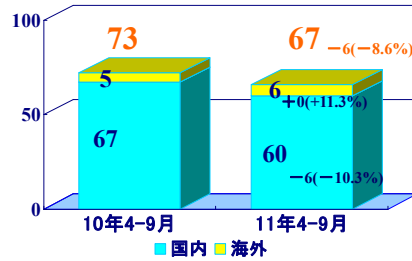


《国内》

- ◆医療用酸素は、一部震災影響あり微減
- ◆機器は新規連結効果あり
- ◆在宅関連はレンタルが好調
- ◆病院向け設備は、専門部署を新設

サーモス事業

単位: 億円



《海外》

- ◆アジア地域での販売堅調

《国内》

- ◆主力のスポーツボトル需要横ばい
- 携帯マグは下期に新商品投入予定

東日本大震災の影響について

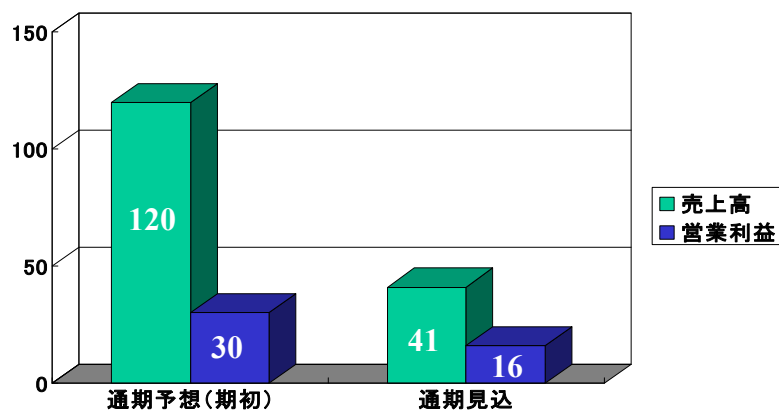
被災した生産設備の復旧状況

- 液化ガス生産拠点の出荷再開時期
 - ◆ 大平洋ガスセンター 7月上旬(ガスパイピング6月)
 - ◆ 仙台サンソセンター 9月上旬(ガスパイピング8月)

- シリンダー充填設備
 - ◆ 仙台日酸(多賀城事業所内)
 - ・ LGC(可搬式液化ガス容器)の充填再開 8月下旬
 - ・ 容器耐圧検査再開 10月初旬
 - ・ 一般高圧ガス充填 復旧検討中
 - ※ 他の充填工場でバックアップ可能

震災影響額

(単位:億円)



※直接的影響額のみカウント

新中期経営計画 (2012年3月期～2014年3月期) の概要

新中期経営計画(2012年3月期～2014年3月期)

“Gear Up 10”

～グローバル企業への挑戦Ⅲ～

中長期的な経営指標として

【トリプル10】

- | | 2010年度実績 |
|-------------------------------|--------------------|
| 1. 世界シェア 10% を目指す | ⇒ 7.6% (※1) |
| 2. 営業利益率 10% 以上を目指す | ⇒ 7.3% |
| 3. ROCE(※2) 10% 以上を目指す | ⇒ 7.8% |

※1 2010年度“Cryo Gas International誌”及び各社アニュアルレポートを基に経営企画部で試算

※2 ROCE(使用総資本利益率)=(営業利益÷(有利子負債+自己資本)の期首・期末平均)×100(%)

中期経営計画の重点戦略並びに取り組み方針

重点戦略

1. 成長地域・成長市場への経営資源の集中
2. 川上戦略の強化
3. M&A戦略の推進
4. コストダウンの実行
5. グループ経営の強化

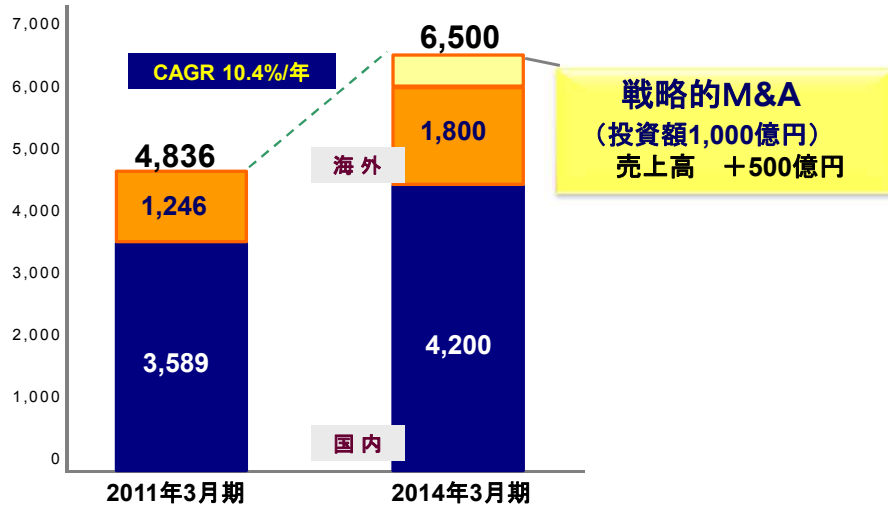
前中計から継承

取り組み方針

1. コンプライアンス、保安確保、品質管理の強化
2. 費用対効果、労力対効果を徹底的に追求した効率的な経営
3. 地域基盤の強化
4. シリンダービジネスへの注力
5. R&Dの強化
6. 積極投資の継続

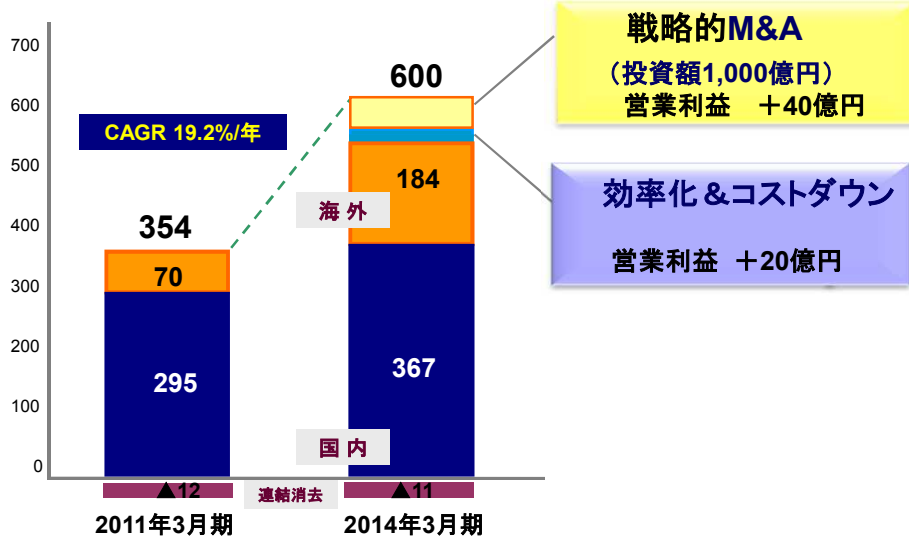
売上高目標 -6,500億円-

(単位: 億円)

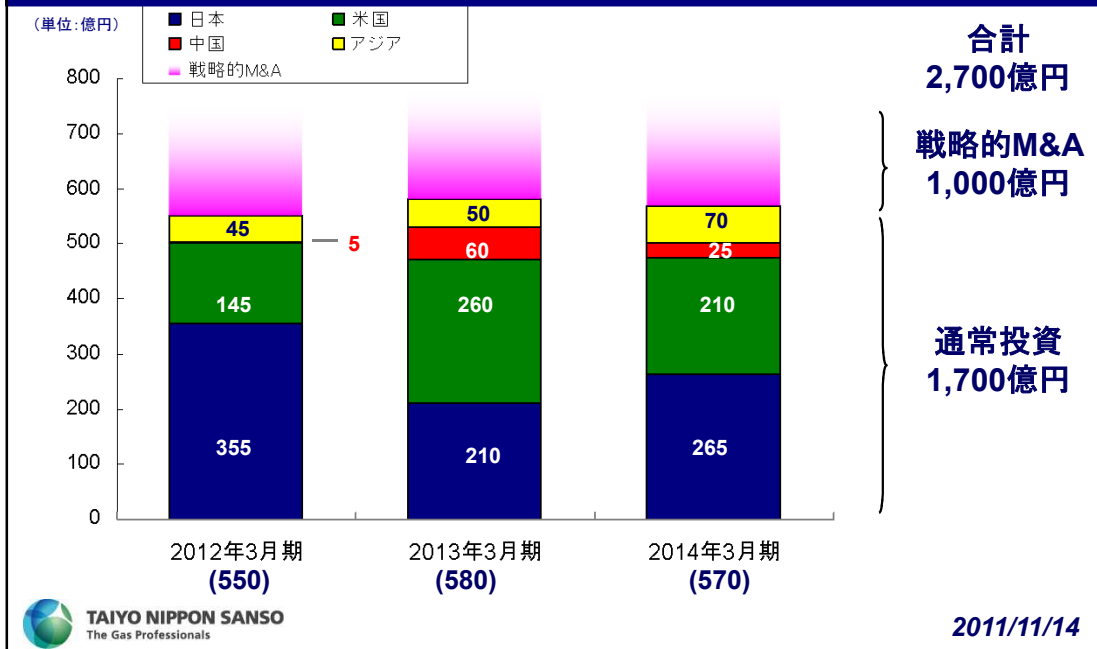


営業利益目標 -600億円-

(単位: 億円)



設備投資・投融資の推移 地域別 (2012年3月期～2014年3月期)



“Gear Up 10”数値目標・経営指標

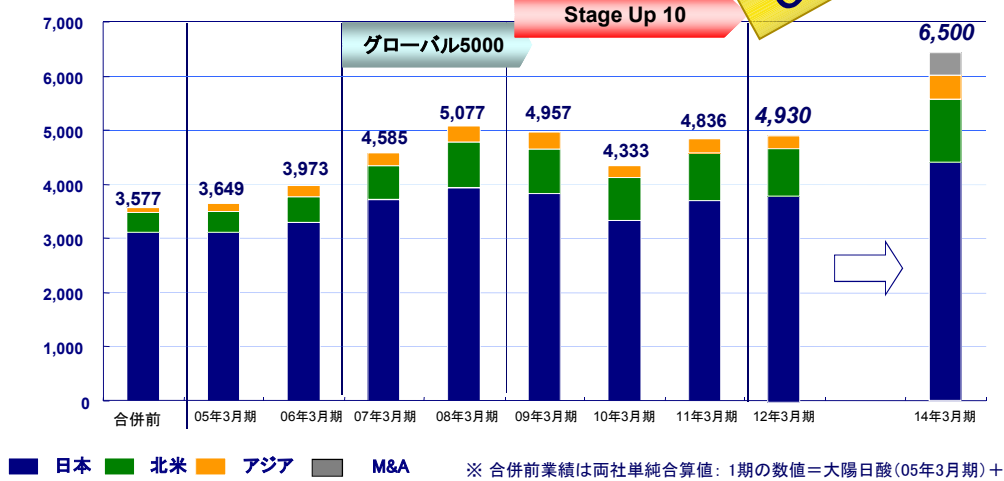
(単位:億円)	2011年3月期 実績	2014年3月期 計画 (*1)
売上高	4,836	6,500
営業利益	354	600
利益率	7.3%	9.2%
経常利益	341	530
当期利益	127	300
減価償却費	321	376
ROCE	7.8%	10.8%
設備投資*2・投融資	542	1,570
純有利子負債残高	2,118	3,400
ネットD/Eレシオ	1.10倍	1.42倍

*1 戦略的M&A(投資額1,000億円)による増収額500億円及び増益額40億円を含む。

*2 設備投資は完成ベース

売上高の推移

(単位: 億円) << 通期ベース >>



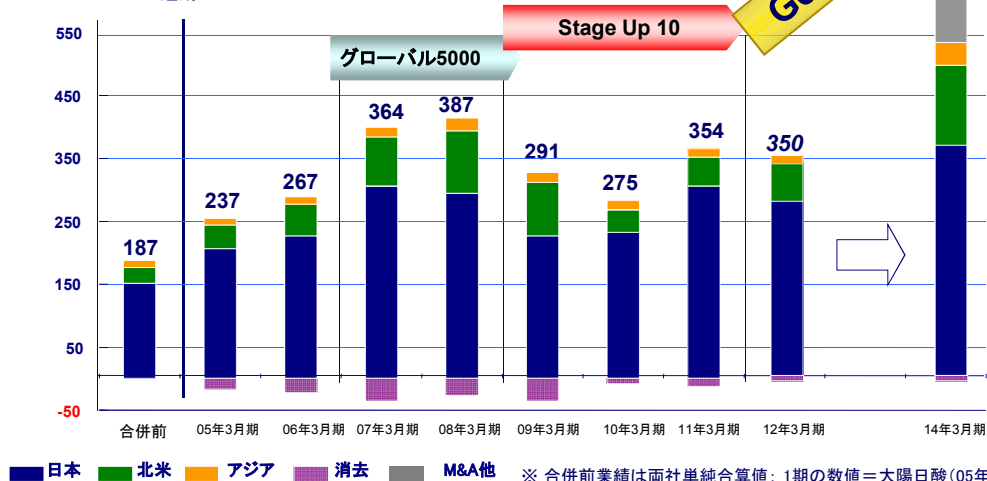
TAIYO NIPPON SANSO
The Gas Professionals

※ 合併前業績は両社単純合算値: 1期の数値=大陽日酸(05年3月期)+大陽東洋酸素(04年9月期)-両者間内部取引

2011/11/14

営業利益の推移

(単位: 億円) << 通期ベース >>



TAIYO NIPPON SANSO
The Gas Professionals

※ 合併前業績は両社単純合算値: 1期の数値=大陽日酸(05年3月期)+大陽東洋酸素(04年9月期)-両者間内部取引

2011/11/14

海外売上高の推移

(単位:億円)	国内	海外	計	海外売上高比率
合併前	3,053	524	3,577	14.7%
2005年3月期	3,030	619	3,649	17.0%
2006年3月期	3,183	789	3,973	19.8%
2007年3月期	3,624	961	4,585	21.0%
2008年3月期	3,811	1,265	5,077	24.9%
2009年3月期	3,782	1,175	4,957	23.7%
2010年3月期	3,283	1,050	4,333	24.2%
2011年3月期	3,589	1,246	4,836	25.8%
2014年3月期計画	4,200	1,800	6,000	30.0%

※戦略的M&Aでの上乗せは除く

大陽日酸10年ビジョン～2020年度までの将来ビジョン～

国内事業の体質強化

グローバル展開の加速

売上高1兆円

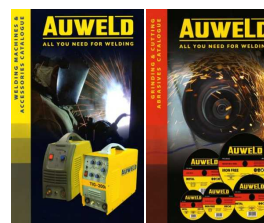
世界に存在感を示す、アジア発の産業ガスメジャー

トピックス

Leeden Limitedの株式公開買付け

<Leeden Ltd概要>

- 連結業績 (2010年12月期) 売上高: 12,446百万円、 営業利益: 1,093百万円、 当期利益: 495百万円
- 地域別売上状況 シンガポール 45%、マレーシア 31%、インドネシア 12%、その他 12%
- 当社との関係 NOX社を通じ、Leeden社株式9,055千株(発行済株数の約5.0%)を所有
- 資本金 3,547百万円
- 従業員数 1,131名
- 取扱商品
 - ◇ 溶接・溶断関連事業 45%
溶接機、ガス切断機、レーザ切断機など
 - ◇ ガス関連事業 30%
工業ガス、医療用ガス、特殊ガスなど
 - ◇ セーフティー事業 20%
安全保護具、救助器具、水処理装置など



[自社ブランド商品]

Leeden Limitedの株式公開買付け

<公開買付けの概要>

□公開買付けの目的

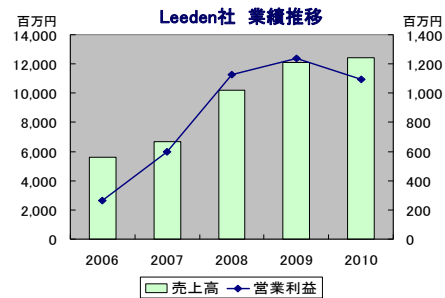
- ・大陽日酸グループとして、販売網、経営資源の相互活用が可能となる
- ・成長市場である、東南アジア地域での事業の拡大を目指す

□公開買付け予定株式数 : 普通株式 170,510千株(発行済株式数 179,565千株)

□買付けに要する資金(予定): 最大で85.3百万シンガポールドル(約55.5億円)



ガス事業部門充填工場



2011/11/14



成長市場への取組み(MOCVD)

新型大口径量産型MOCVD装置実証試験開始 UR26K



【処理能力】

6インチX10枚

または

8インチX6枚

※処理面積 世界ナンバーワン

【従来機UR25Kとの比較】

設置面積⇒同等

生産効率⇒1.5倍に向上



2011/11/14

成長市場への取組み(酸素安定同位体)

<概要>

医療用PET診断薬の原料である、酸素安定同位体
水-¹⁸O製造プラント増設

設置場所: 千葉サンソセンター袖ヶ浦工場内

製造能力: 200Kg/年増産

既存設備(千葉SC 五井工場内)とあわせて300kg/年に

完成予定: 2013年初旬

<需要動向>

【現状用途】

癌診断用PET診断薬

「¹⁸FDG (18Fluorodeoxyglucose)」の原料

世界市場(2010年) 500Kg/年⇒年成長率5-10%



五井工場

2011/11/14



成長市場への取組み(酸素安定同位体)

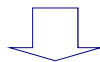
【新規用途】

対象疾患	メーカー	診断薬	上市見込 (臨床試験)	予測 検査数
脳(Alzheimer)	Eli Lilly, GE, Bayer	AV-45- ¹⁸ F	2013年(P-III)	5百万/年
心臓(心筋梗塞)	Lantheus	Flurpiridaz- ¹⁸ F	2014年(P-III)	5百万/年
ガン(治療効果)	Roche	ML-10- ¹⁸ F	2014年(P-II)	2百万/年

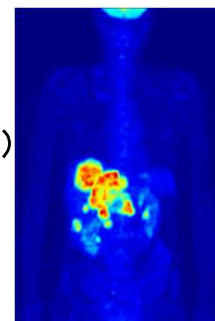
※現行では、ガン診断用FDGの検査数は年間約4百万検査

【市場予測】

新規用途(脳・心臓疾患)も含めた世界市場(当社推定)



5~10年後に需要は倍増



FDG-PET画像



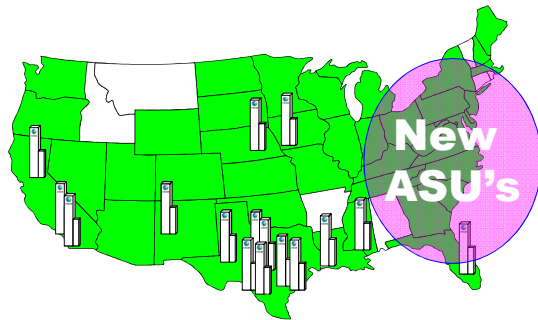
2011/11/14

成長地域への取組み(U.S.A)



MATHESON

ask. . .The Gas Professionals™



北米の主な投資案件

- 2004年 * Air Liquideより旧MesserのASU6基を買収
- 2006年 * 中西部の大手産業ガスメーカーのLinweld社を買収
 - * BOCよりヘリウム事業を買収
- 2007年 * 南カリフォルニアで新たな大型ASUが稼動
 - * APCIとヘリウム生産会社設立
- 2008年 * 南カリフォルニアFive Star Gas & Gear社を買収
 - * 北カリフォルニアAeris社を買収
- 2009年 * Valley National Gases社を買収
 - * アイオワ州、テキサス州に新ASU建設
- 2010年 * アセチレン製造・卸業者のWestern International Gas & Cylinders社を買収



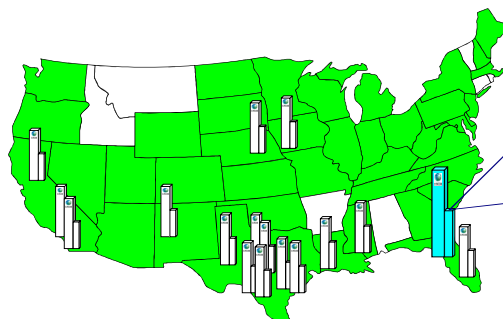
2011/11/14

成長地域への取組み(U.S.A)



MATHESON

ask. . .The Gas Professionals™



【新空気分離装置 概要】

- ・設置場所: 米国フロリダ州中西部 (レイクランド市)
- ・液生産能力: 340t/日
- ・フロリダでの生産能力はシェア38%でNo.1に。
- ※フロリダは、GSP(州内総生産) 全米4位の優良マーケット
- ・稼動開始: 2012年11月予定



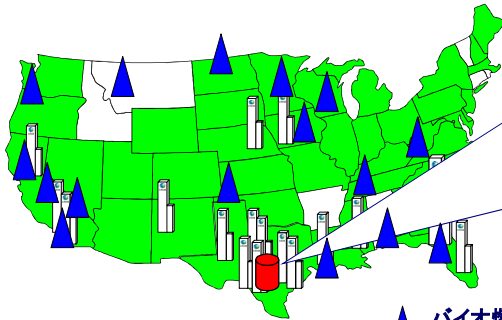
2011/11/14

成長地域への取組み(U.S.A)



MATHESON

ask. . .The Gas Professionals™



【エネルギー分野への取組み】

- ・バイオマス製造工場向け水素ガス
オンサイトビジネス獲得
- ・水素生産能力:4,400Nm³/h
- ・設置場所:テキサス州 (パサデナ市)
- ・稼働開始:2011年末



バイオ燃料などエネルギー分野で
のオンサイト事業の拡大を目指す

▲ バイオ燃料工場など / 酸素、窒素、水素オンサイトビジネス
チャンスあり



2011/11/14

2012年3月期 通期連結業績予想



2011/11/14

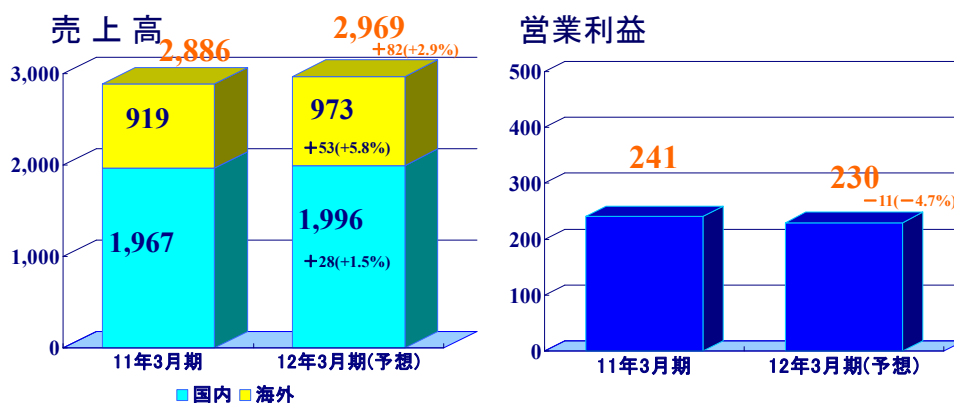
2012年3月期 通期連結業績予想

単位: 億円

	11年3月期 (実績)	12年3月期 (予想)	増 減	増減率
売 上 高	4,836	4,930	93	1.9%
営業利益	354 7.3%	350 7.1%	-4	-1.3%
経常利益	341 7.1%	320 6.5%	-21	-6.3%
当期純利益	127 2.6%	177 3.6%	49	39.0%

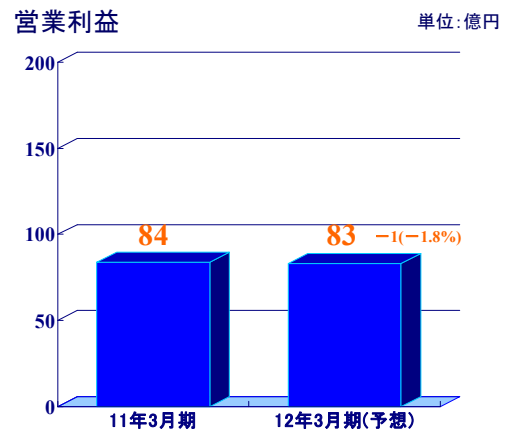
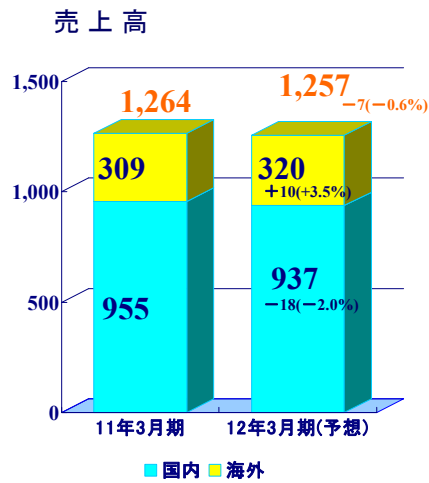
2012年3月期 産業ガス関連事業セグメント予想

単位: 億円

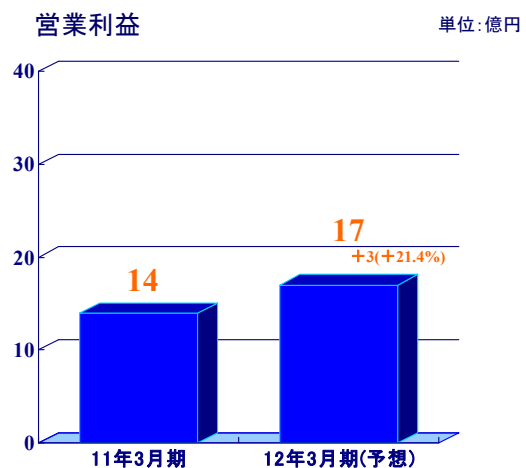
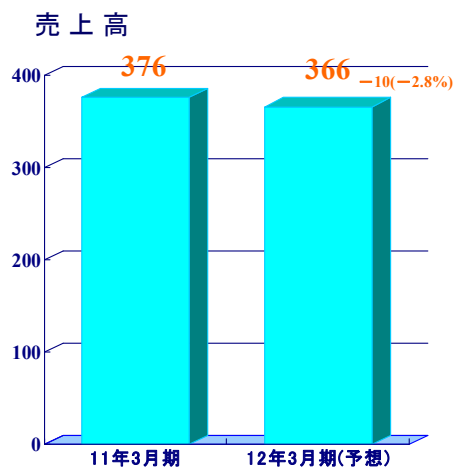


※売上高のグラフは、海外売上高ベースで分類しております

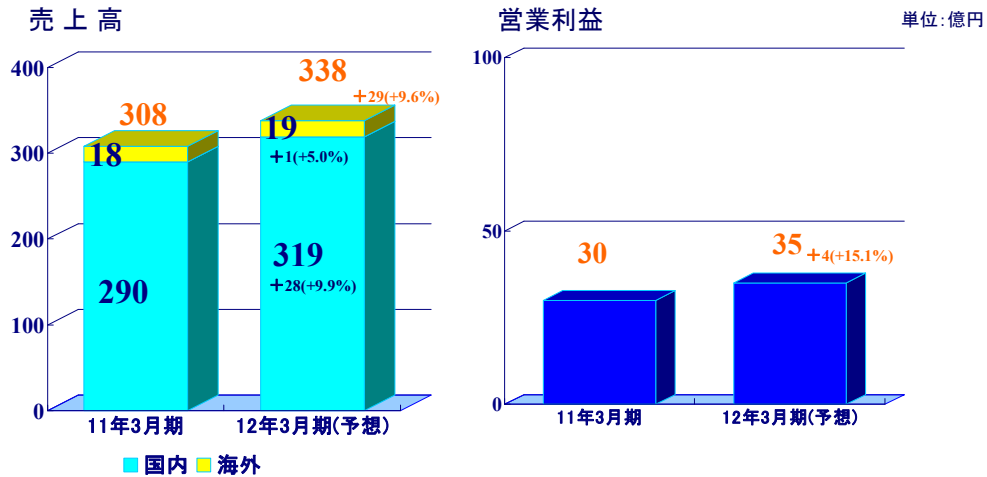
2012年3月期 エレクトロニクス関連事業セグメント予想



2012年3月期 エネルギー関連事業セグメント予想



2012年3月期 その他事業セグメント予想



注意事項

- 本資料は、証券取引上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本説明会および本資料には将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しが記述されておりますが、これらは現時点で入手可能な情報により当社が判断、想定したものであり、実際の業績は様々なリスクや不確実性（経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これらに限られません。）を含んでおります。
- このため、現時点での見込みとは異なる可能性がございますことをご承知おきいただき、本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控え下さいますようお願い致します。